

＝平成30年度早川南小学校だより＝

はるき



平成31年1月8日

No.39

校長 坂野修一

3学期がスタート！



「平成最後の～」と枕詞がつくお正月が終わりました。みなさま、いかがお過ごしだったでしょうか？月並みな言葉ではありますが、「明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。」今年も、十二支の最後となる亥年。亥年には「次のステージに向けた準備期間」といった意味合いがあると言われていています。平成から〇〇？に元号も変わる2019年。まさに次のステージに向けた年になります。

「ホップ・ステップ・ジャンプ」という言葉もよく見聞きしますが、3学期はジャンプの学期になります。年間の総仕上げの3学期、そして、次年度の進級や進学に備える3学期を、私たち教職員一同は、子どもたち一人ひとりがこの1年間でどのように成長したかしっかりと見取り、次の年度に希望や目標を持って進めるよう援助しなければなりません。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」という教育界でよく使われる言葉がありますが、3学期の授業日数52日の毎日を、大切に指導にあたる所存です。

今日の始業式では、子どもたちに次の趣旨の話をしました。

3学期の授業日数は52日(6年生は50日)。6年生は、どのように小学校生活を締めくくろうとしているのか、下級生全員がその背中を見るはず。そして、その姿が下級生の、特に5年生の目標になる。そして、5年生の姿を4年生が、4年生の姿を3年生が…。1年後の自分の姿を重ね合わせながら、6年生の頑張る姿、先輩の頑張る姿をしっかりと見続ける3学期であってほしい。そうやって、学校はつながっていく。早川南小学校52年目に向けてつながろう！つながりを絶やしてはいけない！

学校は、3学期にどのような形で「つながる」かが大切になってきます。子ども一人ひとりの成長を促すための子ども自身の「つながり」はもちろんのこと、集団としてや組織としての「つながり」が大事になってきます。そのためにも、目標を持つことが大切になってくると思います。2学期の終業式の折に、「正月には2019年の新たな目標を立てましょう」と話をしましたが、始業式の中では、具体的な目標が子どもたちから聞こえてきました。1～3年の子どもたちからは、「10回跳べるようになりたい」「交差跳びやあや跳びを頑張りたい」「二重跳びを100回跳びたい」などのなわとびの具体的な目標が話されました。4年生の子どもからは、「都道府県名を漢字でしっかり覚える」との目標が…。きっと懸命に覚えてくれると思います。5年生の新児童会長からは、「何事にもしっかりと積極的に動く」という力強い決意が…。そして6年生の児童会長からは、漢字学習や自学のがんばり以外に、「最後の本部の活動を頑張る」という責任感あふれる目標が話されました。きっと、他の子どもたちも、教室の中で新たな目標を掲げみなで共有したことでしょう。その目標実現のために、私たち教職員が関わり援助できる内容ならば、大いに支援をしてまいりたいと思います。

インフルエンザが集団で発生する時期にもなってきます。昨年度の早川南小学校は、子どもも職員も大勢が罹患したと聞いています。今年はそうならないように、子どもも職員も健康管理には充分気をつけて、一日一日を過ごしていきたいと思います。



本校4年担任小田ひかりですが、すでにご存じの方もいるかと思いますが、昨年12月25日に入籍し、渡邊ひかりとなりました。「渡邊先生！末永くお幸せに…♡♡♡」